



YABUSHITA

株式会社
ヤブシタ

ヤブシタ
ホールディングス
株式会社

ヤブシタ総合設計
株式会社

ヤブシタエネシス
株式会社

株式会社
ヤブシタ製作所

株式会社
ヤブシタ
エンジニアリング

株式会社
ヤブシタ
メタルワークス

ヤブシタ冷熱設備
株式会社
電気・設備工事

関光電設
株式会社

東研冷機工業
株式会社
保守メンテナンス

株式会社
Riy制作室

株式会社
ユーテック

ヤブシタミヤンマー
株式会社
海外冷蔵部門

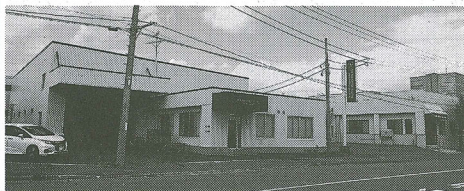
株式会社
MONOづくり

「築く」ために、「気づく」会社。

YABUSHITA

〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目3-1 南大通ビルN1 3F TEL:011-205-3280 FAX:011-205-3285

ヤブシタメタルワークスの工場と事務所（右隣にヤブシタエンジニアリングの本社がある）



庫品)については、全てヤブシタメタルワークスが製造・出荷する。これにより本州出荷分のリー

を東北6県が占めている。そのため、この東北向けのステンレス製を、需要地の東北で製造・出

このうち鋼板製が出荷の6割、ステンレス製が3割を占めるが、このステンレス製の出荷先の7割

る。同社の防雪フードは、在庫品の鋼板製とステンレス製、特注の耐重塩害仕様の3種で展開。

に注力している防音製品等について、グループの生産能力を強化したいという考えから始まっている。

納品が可能になる。8月
よりの出荷を開始した。
同社設立の経緯を振り
返ると、ヤブシタが拡大

品が可能に

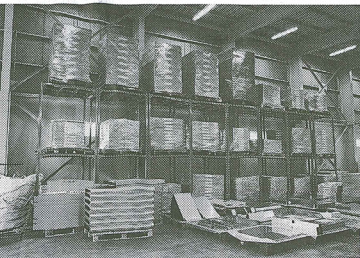
新会社
出荷開始

2023 北東北空調冷熱市場



石郷岡 告太社長

工場で製造した製品



工場内の在庫

工場内の在庫

それを「当社で形にできれば」と

石郷田社長。そしてヤブシ

タの新製品に繋げてきた

(も)とヤブシ

タの防雪フードは、工

会社のニーズを捉えた取

り付けやすさが好評で爆

発的にヒットした。その

意味で同社グループは工

事現場のニーズを重視し

ている。

『本州に在庫拠点がある』という顧客からの多くの要望に応え設立されたヤブシタメタルワークス。同社は、まずは在庫を切らさずに、生産

品目の拡大を進めて設備を全うしながら、先々はヤブシタからの仕事のみにならず、独自の営業活動にも乗り出したい考え。

石郷田社長は「ヤブシタ製作所を超えていくイメージを持つ」と述べ、グループの中核を目標、グループの東北市

指す決意も垣間見せた。

石郷田社長は、東北市代理店に対して「ヤブシタグループとして連携

してお力になっていきたい。設計や開発、また空

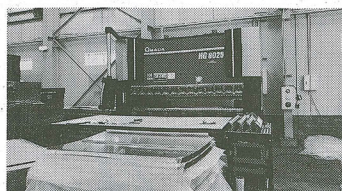
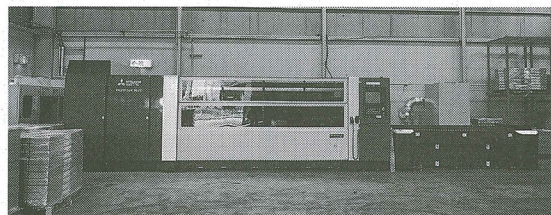
調工事もグループで手掛けられるため、グループ

の窓口としても弊社にお

問い合わせ頂ければ」と話す。今回のヤブシタメタルワークスの設立をき

っかけとして、ヤブシタグループ全体の東北市場でのプレゼンスを上げていく構え。

導入したレーザー加工機(上)とベンダー



間は、製品を製造して工場近傍の契約倉庫に在庫を積み上げてきた。8月より倉庫から製品の出荷を開始すると共に、倉庫へ

定していた台数よりも
実際は多く出荷されるケ
スが多い。そのため当
社出荷にも対応できるだ
いの量を製造・補充して
いる。

また受注生産品のステ
中には、塗装不要の高耐
食卑鉛メッキ鋼板（Z/A
素地）製やステンレス
製の製品もあり、そうし
た製品の生産を視野に入
れている。

ところで、同社工場に隣

ンレス製防雪フードについて、ヤブシタメタルワークスもしくはヤブシタ製作所か、どちらが納期に沿えるかを考えた上で分担している。石郷田社長は16年にわたりヤブシタ製作所に勤めており、出荷の司令塔の役割も担っていたため、そ

接して、ヤブシタグループで給排水衛生・空調設備工事を手掛けるヤブシタエンジニアリング（代表取締役・外崎匡洋氏）が本社を構え、同社と積極的に連携してきたという。石郷田社長は今後、同社を中核として、工事現場の

中、製品化のヒントを得ることも多いと見られ

北東北